

# 大阪市自動運転バス実装協議会について

2022.04.28

「自動走行ビジネス検討会報告書version 6.0」策定

-自動走行ビジネス検討会事務局



p.3

自動走行ビジネス検討会は、自動走行分野において世界をリードし、社会課題の解決に貢献することを目指し、産学官オールジャパン体制で自動走行のビジネス化を推進するため、経産省製造産業局長と国交省自動車局長の主催により、2015年2月から実施

2022.06.03

「大阪・関西万博 来場者輸送基本方針」策定

-2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会



大阪・関西万博の開催を契機として、MaaSや自動運転などの新たな移動サービスを実践し、適切な形で関西の未来社会へ受け継がれることをめざすこととされた

2022.12.14

「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望」

-大阪府、大阪市、関西広域連合などを含めた7者



p.4

政府の「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.2」改訂に向けて要望

2022.12.20

「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.3」策定

-国際博覧会推進本部



p.5

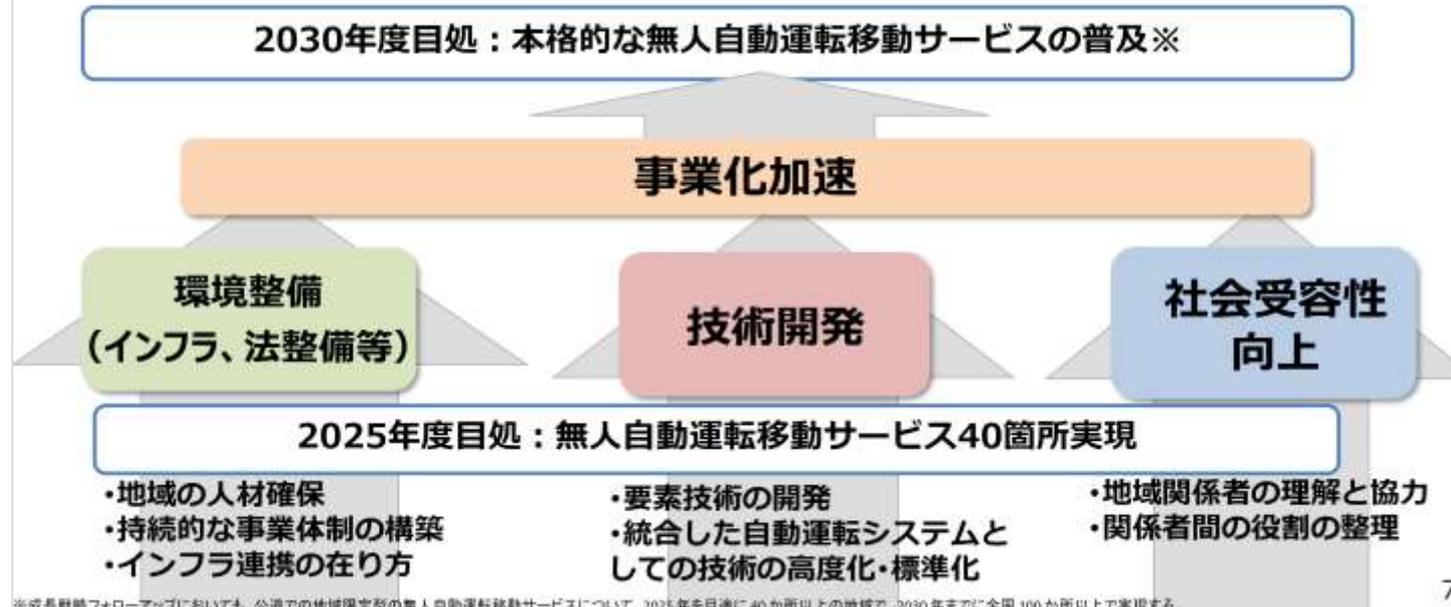
2022.04.28

## 「自動走行ビジネス検討会報告書version 6.0」策定

-自動走行ビジネス検討会事務局

### 無人自動運転移動サービスの実現・普及に向けて

- 無人自動運転移動サービスを本格的に普及していくためには、技術開発、環境整備、社会受容性向上の総合的な取組を元に、事業化につなげていくことが重要。
- まずは、2025年度目処に無人自動運転移動サービスを40箇所を実現することで、技術開発、環境整備、社会受容性の課題解決に資するようなノウハウ・成果を生み出し、事業化に向けたコストダウンを図り、2030年度頃への本格的な普及を目指す。



※成長戦略フォローアップにおいても、公道での地域限定型の無人自動運転移動サービスについて、2025年を目途に40か所以上の地域で、2030年までに全国100か所以上で実現する。

(※「自動走行ビジネス検討会報告書version 6.0」より引用)

2022.12.14

## 「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望」

-大阪府、大阪市、関西広域連合などを含めた7者



### 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望

総務省「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.2」の取組に向けて

大阪府  
大阪市

公益社団法人 関西経済連合会  
関西地区国際博覧会協会、大阪府工業連合会  
一般社団法人 関西経済連合会

※発行人: 2025年日本国際博覧会協会

2022年12月

## 2(2) 自動運転

世界的に開発競争が激化する自動運転(レベル4相当)を、万博会場へのアクセスや会場内の移動で実現。安全・快適な未来のモビリティ社会の体験を通じ、その後の社会実装につなげていく。

テーマ	2022(現状)	2025(万博開催)	2030(万博後のめざす姿)
自動運転の実現	<p>□自動運転の実証実験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>万博会場となる夢洲等で、民間企業により実証実験を実施中(レベル2、4)</li> <li>実証実験のエリア拡大に向けた体制の構築</li> </ul>  <p>(出典)2025年日本国際博覧会協会HP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郊外の高齢化が進む団地で地域の足として実証を実施中(レベル3: 河内長野市)</li> </ul>	<p>万博会場</p> <p>会場までのアクセスや会場内において、自動運転で安全に移動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要駅等から万博会場へのアクセスをレベル4相当の自動運転化で輸送</li> <li>広大な万博会場の移動を、自動運転車により安全に移動</li> </ul>	<p>□自動運転の社会実装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転での移動サービスが普及拡大</li> </ul> 

※自動運転レベル

- ・レベル2:部分運転自動化(人が運転)
- ・レベル3:条件付自動運転(システムが運転、緊急時は人が運転)
- ・レベル4:特定条件下における完全自動運転(システムが運転)

(※「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望」より引用)

2022.12.20

## 「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.3」策定

-国際博覧会推進本部



**モビリティ**

### 自動運転の一層の推進

**①実施概要**

大阪・関西万博において、無人自動運転サービスの実現・本格化に向けた交通インフラや制度整備の検討を加速させ、会場内移動、及び会場外から会場への来場者輸送を担う一部のEVバスの自動運転走行（レベル4相当）を実現する。

**会場内EVバス運行イメージ**

**会場へのバス運行イメージ**

**②今後の実施方針**

- ・自動運転車両調達・改造・システム開発(実証実験含む)
- ・必要なインフラの検討と設置にかかるスキームの調整

**③予算**

【国土交通省】令和4年度補正予算額：250億円の内数  
令和5年度概算要求額：事項要求  
[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07\\_hh\\_000414.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000414.html)

**④工程表**

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	全体調整（万博関係者、各管理者、運行事業者等）		
	自動運転車両調達・改造・システム開発（実証実験含む）		万博において実装
		特定自動運行の許可手続	
会場外輸送の実施主体及びルート案の決定	必要なインフラの検討と設置にかかるスキームの調整（電気マーカー、信号協調、交差点カメラ等）	インフラ設置	

連絡先 デジタル庁国民向けサービスグループ 03-4477-6775  
国土交通省自動車局技術・環境政策課 03-5253-8592  
国土交通省道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 03-5253-8484  
警察庁交通局 03-3581-0141  
総務省総合通信基盤局 電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室 03-5253-5896  
経済産業省製造産業局自動車課ITS・自動走行推進室 03-3501-1618

(※「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.3」より引用)

2022.12.27

「大阪スーパーシティ全体計画」策定

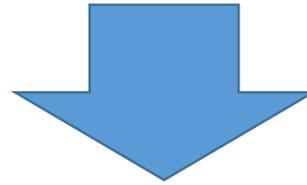
-大阪府、大阪市

第2章 大阪のスーパーシティ構想の概観			
2025年 大阪・関西万博を機に“豊かな未来社会”を実現【移動・物流など】			
● 時間や場所を問わず人やモノが移動できる未来の移動社会の実現に向けて、スーパーシティ構想のフィールドで実績を重ねていく。			
	フェーズⅠ ～2024年度 Before万博	フェーズⅡ 2025年度 With万博	フェーズⅢ 2026年度～ After万博
移動・物流など	<b>イメージ</b>  <p>出典：経済産業省HP</p>	<b>スマートモビリティの推進</b> 	<b>万博後のMaaS</b>  <p>MaaS</p>
	<b>サービス内容</b> <b>貨客混載</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業員用シャトルバスで貨客混載することで工事資材などの運送を効率化</li> </ul> <b>シャトルバスの自動運転化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>レベル2での自動運転走行を大型第一種免許で可能にし、輸送効率を向上</li> </ul>	<b>自動運転：万博アクセス・万博会場内の移動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>万博会場へのアクセスや会場内移動の一部においてバスの自動運転（レベル4相当）を実施</li> </ul> <b>MaaSによる移動の円滑化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>OSAKAファストバス（仮称）による混雑情報の提供や来場交通プランの案内を実施</li> <li>万博関連情報の連携による関西MaaSの機能拡充</li> </ul>	<b>万博後のMaaS</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>データ連携基盤などを通じて、交通、観光など、多岐にわたるデータを活用し、交通需要を予測・誘導することで、渋滞回避やCO2削減、新たな移動需要の創出に寄与する都市型・広域のMaaSの実装</li> </ul>
移動・物流など	<b>イメージ</b>  <p>出典：経済産業省HP</p>	<b>日本初の空飛ぶクルマの社会実装</b>  <p>提供：2025年日本国際博覧会協会</p>	<b>日常での空飛ぶクルマの普及</b>  <p>出典：経済産業省HP</p>
	<b>サービス内容</b> <b>ドローンによる夢洲開発の円滑化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>夢洲開発における工事の円滑な進捗と安全管理のためにドローンを最大限に活用</li> <li>1. ドローンによる資材などの運搬、作業現場域内の高所などへの資材配送</li> <li>2. ドローンを活用した測量・工事管理</li> <li>3. ドローンによる建設現場の見守り</li> </ul>	<b>空飛ぶクルマ／万博アクセス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>関西の主要空港から万博会場を結ぶ、空のアクセスとしての空飛ぶクルマの社会実装</li> </ul> <b>空飛ぶクルマ／観光周遊</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要観光地と万博会場を結ぶ、観光アクセスとしての空飛ぶクルマ</li> </ul>	<b>街なかにポートが存在する日常モビリティ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要駅やビルの屋上（Hポート・Rポート）、コンビニの駐車場、ウォーターフロントなど、市街地の様々な場所にポートが存在し、日常使いのモビリティとして空飛ぶクルマが普及</li> </ul>

(※「大阪スーパーシティ全体計画」より引用)

## 協議会の目標

- 2025年大阪・関西万博を契機とした大阪市における自動運転バスの実装に向けて、関係行政機関等による十分な協議や意見交換、情報共有等を行い、実装ロードマップ等を検討し、もって都市交通の質の向上を図る



大阪市自動運転バス実装協議会 発足

※具体的な実装ロードマップ等の検討について、必要に応じて個別地域における部会を開催し、関係者で調整しつつ進めていく